

Mizuho Daily Market Report

2024/2/2

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	146.84	146.43	▲0.49	▲1.23
EUR	1.0793	1.0872	+0.0054	+0.0026
AUD	0.6532	0.6572	+0.0004	▲0.0013
SGD	1.3412	1.3366	▲0.0042	▲0.0036
CNY	7.1835	7.1805	+0.0116	+0.0066
MYR	4.7328	4.7330	+0.0000	+0.0015
THB	35.52	35.46	▲0.01	▲0.27
IDR	15765	15765	▲15	▲60
PHP	56.12	56.12	▲0.17	▲0.42
INR	82.99	82.98	▲0.06	▲0.14
VND	24407	24410	▲15	▲201

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.880%	▲3.2 bp	▲23.8 bp
日本(10年)	0.705%	▲2.7 bp	▲4.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.149%	▲1.7 bp	▲14.1 bp
オーストラリア(5年)	3.613%	+0.5 bp	▲23.8 bp
シンガポール(5年)	2.825%	▲0.5 bp	▲8.3 bp
中国(5年)	2.307%	+1.3 bp	▲4.6 bp
マレーシア(5年)	3.540%	+0.0 bp	▲2.1 bp
タイ(5年)	2.372%	+0.5 bp	▲6.5 bp
インドネシア(5年)	6.456%	▲5.1 bp	▲11.3 bp
フィリピン(5年)	5.987%	+0.0 bp	▲1.5 bp
インド(5年)	7.034%	▲4.2 bp	▲5.2 bp
ベトナム(5年)	1.600%	▲15.0 bp	▲15.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,519.84	+1.0%	+1.2%
N225(日本)	36,011.46	▲0.8%	▲0.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,638.60	▲0.2%	+1.2%
ASX(オーストラリア)	4,161.89	▲0.3%	+0.9%
FTSTI(シンガポール)	3,143.06	▲0.3%	▲0.1%
SSEC(中国)	2,770.74	▲0.6%	▲4.7%
SENSEX(インド)	71,645.30	▲0.1%	+1.3%
JKSE(インドネシア)	7,201.70	▲0.1%	+0.3%
KLSE(マレーシア)	1,512.98	+0.0%	+0.6%
PSE(フィリピン)	6,623.01	▲0.4%	▲0.8%
SETI(タイ)	1,367.96	+0.3%	▲0.6%
VNINDEX(ベトナム)	1,173.02	+0.7%	+0.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	269.71	▲1.0%	▲1.0%
金	2,054.99	+0.8%	+1.7%
原油(WTI)	73.82	▲2.7%	▲4.6%
銅	8,425.50	▲0.9%	▲0.6%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.00	—	148.00
EUR/USD	1.0780	—	1.0900
AUD/USD	0.6500	—	0.6650
USD/SGD	1.3340	—	1.3440
USD/CNY	7.1700	—	7.2100
USD/MYR	4.7120	—	4.7500
USD/THB	35.00	—	35.90
USD/IDR	15750	—	15850
USD/PHP	56.00	—	56.60
USD/INR	82.70	—	83.20
USD/VND	24,100	—	24,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は147円近辺で取引を開始。前日米国時間に発表された米地銀の決算悪化を受け健全性に対する懸念が高まる中、TOPIXでは銀行株がアンダーパフォームすると共にドル円は下落し一時146円台後半まで下落。午後にかけてはTOPIX銀行株とともにドル円も一部値を戻し、結局146円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は方向感に欠ける展開。アジア時間午前こそ、リスク回避的な値動きを受け対ドルで下落したが午後にかけては下落幅を一部縮小させる展開となった。

海外市場のドル円は146円台後半でスタート。日本株安の展開を受け、リスクオフの円買いが進み、146.48まで下落。その後は低下していた米長期金利が上昇する展開に買い戻しが入り、146.97でNYオープン。米州時間朝方には複数の米経済指標が発表され、米第4四半期単位人件費、米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が総じて予想より悪化し、米金利が低下する中、ドル円も146円台前半まで下落。続いて発表された米1月ISM製造業景況指数ヘッドラインは予想を上回り、一時146円台後半まで買い戻されるも、構成項目の雇用部分が前回より低下している事が嫌気されてか、その後145円台後半まで反落。引けにかけては米金利が戻す展開がサポートとなり、146円台前半を中心とした推移が続きクローズ。

【金利】

米金利市場は、長期で特に低下し、金利カーブはややフラット化。米州時間朝方には多数の経済指標発表があり、総合的な内容はまちまちだったが、新規失業保険申請件数が増加したことから、労働市場の冷え込みが意識され、買いが強まった。また明日に控える1月雇用統計発表への様子見ムードもあった。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想する。昨日はFOMC後に慌ただしく上下する展開となったが、ハウルFRB議長が3月利下げに否定的な発言をしており、今後確認される米経済指標の結果次第では一段と利下げ織り込みが後退することが想定される中では積極的なドル売りは控えられるやすいと考えている。

【本日の予定】

(日本) 1月 マネジャーベース
(アジア) 12月 NZ 住宅建設許可
(アジア) 12月 豪 住宅ローン額 / 持家住宅ローン / 投資家ローン額
(アジア) 1月 NZ ANZ消費者信頼感指数
(アジア) 1月 シンガポール 購買部景気指数 / 電子産業指数
(アジア) 1月 韓国 CPI
(アジア) 4Q 豪 PPI
(欧州) 12月 仏 財政収支
(欧州) 12月 仏 鉱工業生産 / 製造業生産
(欧州) 1月 西 失業者数変化
(米国) 1月 ミシガン大学消費者マインド(確)
(米国) 1月 失業率 予想: 3.8% 前回: 3.7%
(米国) 1月 平均時給 予想: 0.3% 前回: 0.4%
(米国) 1月 非農業部門雇用者数変化 予想: 185k 前回: 216k
(米国) 製造業受注 / 耐久財受注(確)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。